

事業③実績 (2) 道内地域課題

検討プロセス

今年度実施

1 行動の特定

- ① 目標達成に向け、より具体的な課題へと落とし込む。
- ② 細分化した課題のアウトカム設定、介入方法等を具体化する。
- ③ 介入する課題及び行動を特定する。

2 課題分析

ターゲットの行動プロセスとタッチポイントを洗い出し、行動に影響を与える主要因を検討する。

次年度実施

3 介入設計

ナッジの知見を活用し、介入方法を検討する。

4 効果検証

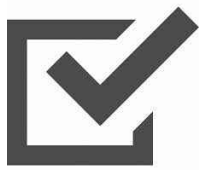
可能な限り透明性の高い手法により実施し、効果検証する。

※ 文献調査及び関係者へのインタビューを実施し、定性・定量データの整理を行う。

事例③ エゾシカのロードキル対策 → **2 課題分析** まで実施。

事例④ ヒグマの人里侵入対策 → **1 行動の特定③** まで実施。

→ **3 介入設計からは、R3に実施予定。**



事業③実績 (2) 道内地域課題

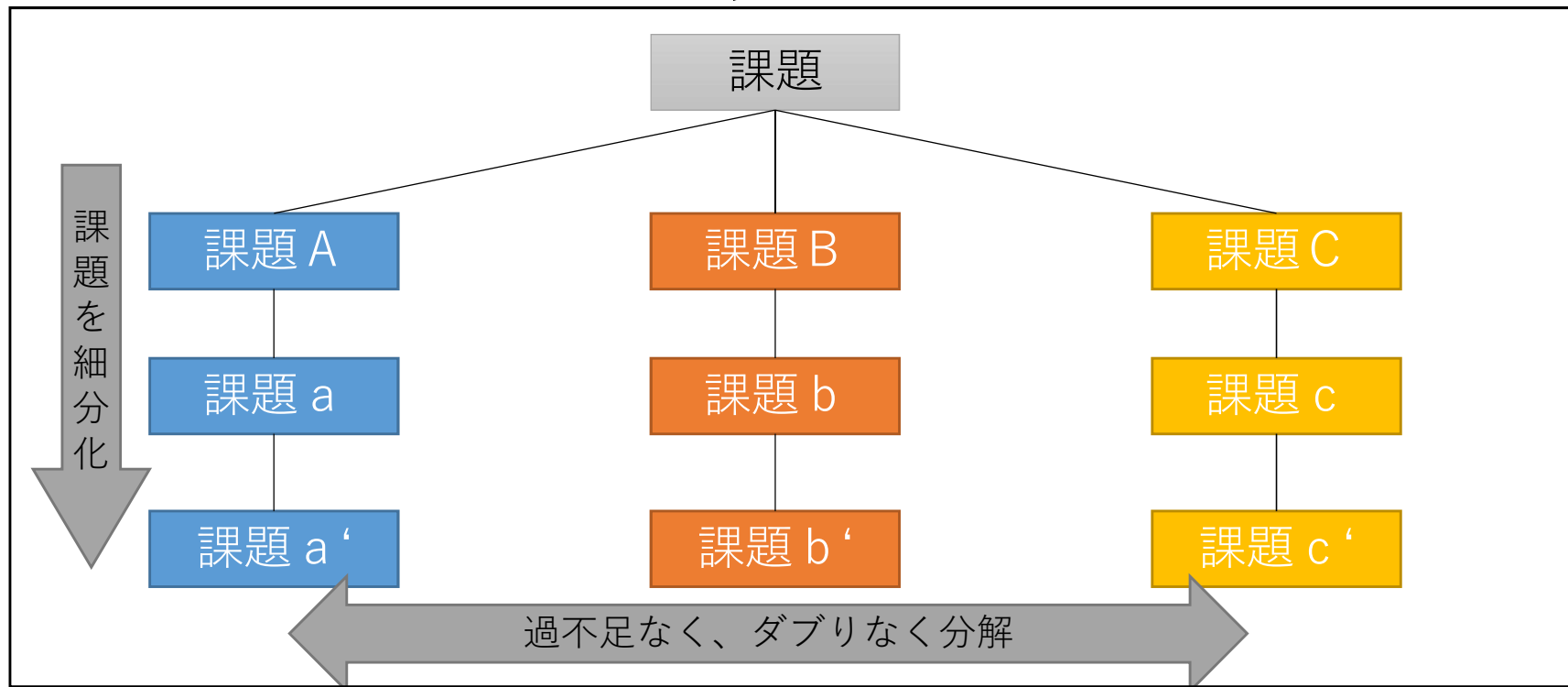
1 行動の特定

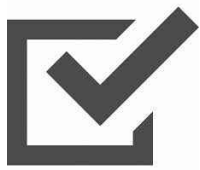
- ① 目標達成に向け、より具体的な課題へと落とし込む。

【ポイント】

- 課題の多くは、細分化された課題の集合体である。
… **ロジックツリーの作成**により課題を細分化。
- 課題の細分化により、課題解決に必要な要因を可能な限り洗い出す。

ロジックツリー





事業③実績 (2) 道内地域課題

1 行動の特定

② 細分化した課題のアウトカム設定、介入方法等を具体化する。

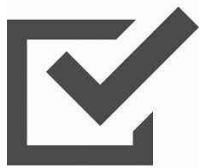
【ポイント】

- アプローチ表の作成により、ロジックツリーで細分化した **課題のアウトカム、介入方法等を具体化。**
- この時点でアプローチ方法を具体化することで、各課題の実現可能性やインパクトを検討する。詳細設計は「2 課題分析」以降に実施。

アプローチ表

	① Step1/Outcome	② Step2/Context		③ Step3/Intervention			④ Step4/Test,Learn,Adapt
案	目標	想定シナリオ (供給サイド)	想定する主な対象者 (需要サイド)	介入箇所・介入方法 (改善・改良)	介入内容 (メッセージ候補等)	介入時に適用する ナッジ (工夫)	実証・検証
課題 A							

課題 B	細分化した課題ごとに次のとおり設定						
課題 C	①アウトカム	... 課題の解決に直結し、効果測定が可能なアウトカムを設定する。					
	②文脈	... 行動変容を促したい対象 (ターゲット) を明確化し、目標達成のためのシナリオを設定する。					
	③介入	... 介入箇所 (タッチポイント)、介入方法、根拠、バイアス等を設定する。					
	④効果検証	... RCT、A/Bテスト、前後比較など、効果測定手法を検討する。					



事業③実績 (2) 道内地域課題

1 行動の特定

③ 介入する課題、行動を特定する。

【ポイント】

- 細分化した課題に対し、アプローチ表を踏まえて**チェックリスト表による採点**（**介入設計等の要件チェック**）を実施。**実現可能性やインパクト**などを評価。
- 素案作成時<第1フィルター> → 詳細設計時<第2フィルター>と段階に応じ2段階でフィルタリングを実施。

チェックリスト表			
課題（細分化した課題） ○○			
(1)第1フィルター(タイミング:アプローチ表作成後)			
No	チェック項目	チェック欄	採点者
1	行動科学の対象か（行動変容を促すターゲットが明確か）	○	チーム
2	行動に影響を与えるボトルネック（心理特性）や情報のタッチポイントは明らかになっているか	○	チーム
3	類似事例を扱ったことはあるか、もしくは他者から類似事例の情報を得ることができるか	○	担当者
4	その行動変容は、組織として重要なものか	○	チーム
5	その行動変容は、行動経済学等により実証された根拠（行動バイアス等）に基づいているか	○	チーム
6	その行動に着目することは倫理的に問題ないか	○	チーム
チェック結果（チェック“○”の合計数）			6
(2)第2フィルター(タイミング:インタビュー等により追加データを補完次第)			
No	チェック項目	チェック欄	採点者
1	パートナーは、その行動変容の必要性を理解し、協力的か	○	チーム
2	その行動変容の「現場」にアクセス可能か（容易か）	○	チーム
3	効果検証に必要なデータの確保は可能か（容易か）	○	チーム
チェック結果（チェック“○”の合計数）			3

No.3は、担当者による採点としたが、No.3以外の項目については、チーム等による合意形成を基本とする。



事業③実績 (2) 道内地域課題

2 課題の分析

検討フロー1により行動を特定後、ジャーニーマップを作成する。

【ポイント】

- ターゲットの **行動プロセスとタッチポイントを全て洗い出し、行動変容の文脈や心理的な要因を検討**する。
- ジャーニーマップの作成により、効果的な介入策の可視化が可能となり、**チーム・関係者間での合意形成が容易**になる。

ジャーニーマップ

①行動プロセスを全て洗い出す

課題 ○○	○○をしようと思う	△△を予約する	××に移動する	...	
タッチポイント			
なぜ、行動を起こさないのか？ (心理・思考・感情)			

②各行動プロセスにおけるタッチポイント、心理要因等を全て洗い出す